



第11期第一四半期 決算補足資料

FY2021 1st Quarter
2020.3.1~2020.5.31
Financial results

SFPホールディングス株式会社 証券コード：3198 (TYO)

Index

2021年2月期1Q 業績ハイライト(連結)	3P
売上高(業態別)の四半期推移	4P
売上高・店舗営業の月次推移(コロナ禍)	5P
既存店前年比(コロナ禍)	6P
損益計算書(連結)	7P
貸借対照表(連結)	8P
業績ガイダンス	9P
株主還元	10P
コロナ禍の取り組み	11P
Appendix	12P

業績のハイライト(連結)

- コロナウイルス感染症拡大に伴う自粛要請に際して、**SFP直営全店休業(4月)、時短営業(5月～)**の措置
- コロナ禍、急激な客数減、費用の抑制に取り組むが、**一時的に業績が悪化**
- **テイクアウトメニューの拡充**や**デリバリー販売の開始**
- 全店において**感染防止の取り組み**を実施(10の取り組み)
- 新規出店やM&Aへの**成長投資は一旦凍結**、キャッシュポジション強化(約97億円の借入実行)

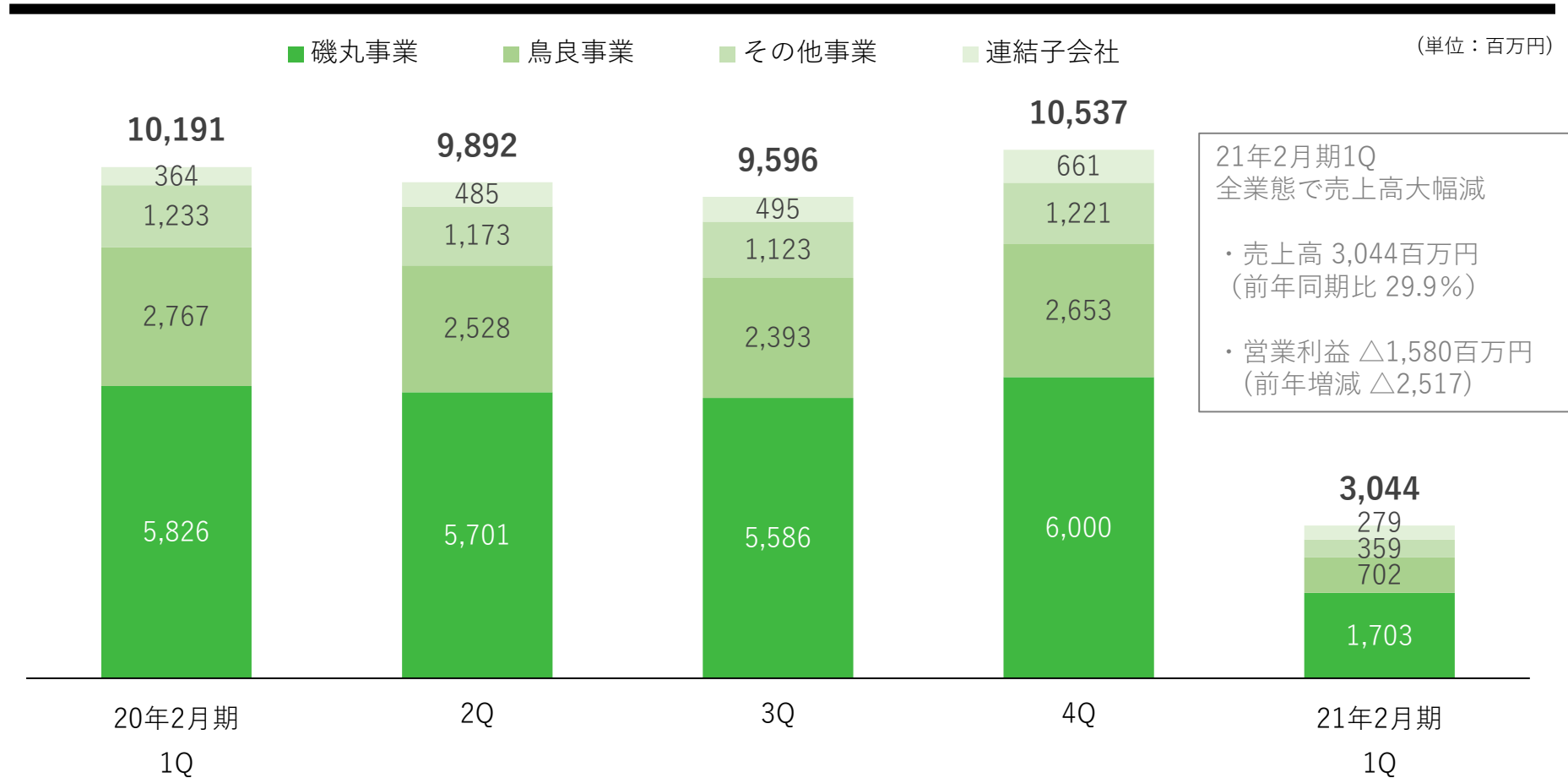
(百万円)	2021年2月期1Q (20年3月～5月)	2020年2月期1Q (19年3月～5月)	前期比	
	実績	実績	増減	前期比
売上高	3,044	10,191	△ 7,147	29.9%
営業利益	△ 1,580	936	△ 2,517	-
経常利益	△ 1,470	1,056	△ 2,528	-
純利益	△ 1,465	723	△ 2,189	-

百万円未満は切り捨てて表示

売上高(業態別)の四半期推移

■前期末(2月)からのコロナ感染症拡大により、21年2月期1Qは全店休業(4月)・時短営業(5月)、全業態で売上高大幅減の影響

売上高(業態別)の四半期推移



磯丸事業：磯丸水産全店
鳥良事業：鳥良、鳥良商店、おもてなし鳥良

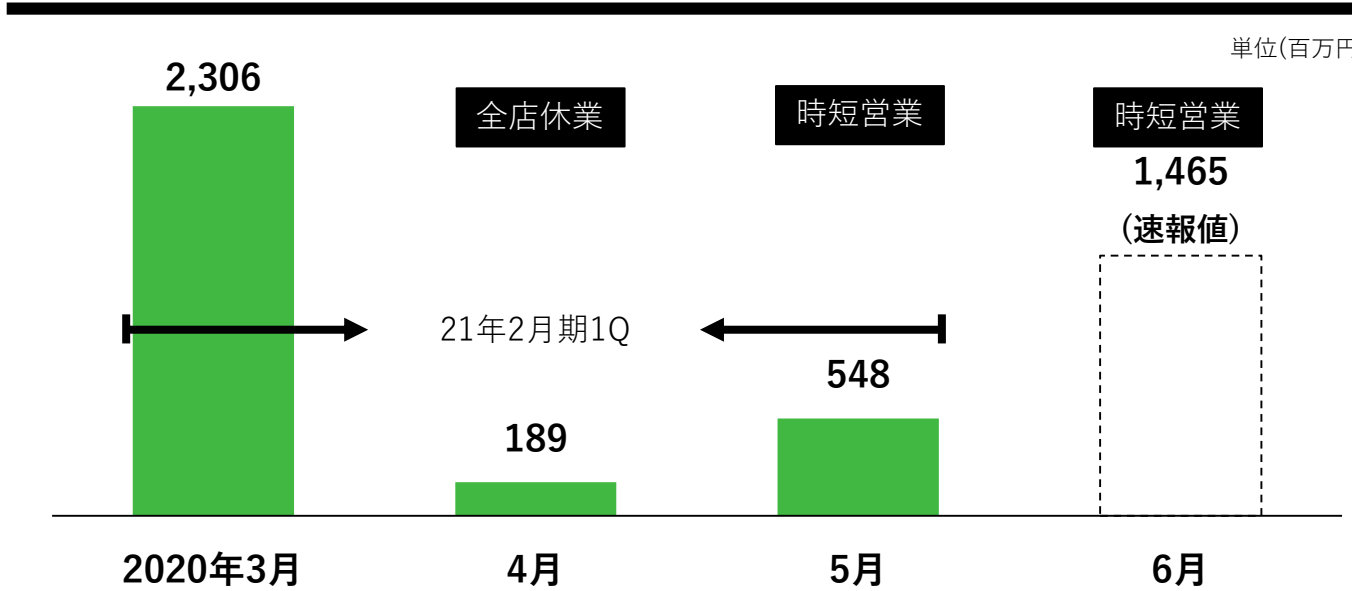
その他事業：きづなすし、五の五、いち五郎他
連結子会社：ジョー・スマイル(熊本)、クルークダイニング(長野)

売上高・店舗営業の月次推移(コロナ禍)

■ コロナ禍、全店休業(4月)・時間短縮営業(5~6月)で売上高急減、6月下旬以降順次通常営業再開、7月以降売上回復へ

売上高・店舗営業の月次推移

単位(百万円)



通常営業	62	0	12	112
時短営業	201	16	187	112
休業	0	247	63	37
店舗数計	263	263	262	261

店舗営業状況は、各月末時点
 全店休業：20年4月7日～5月8日 SFP直営店全店休業
 店舗数計：増減は出退店によるもの

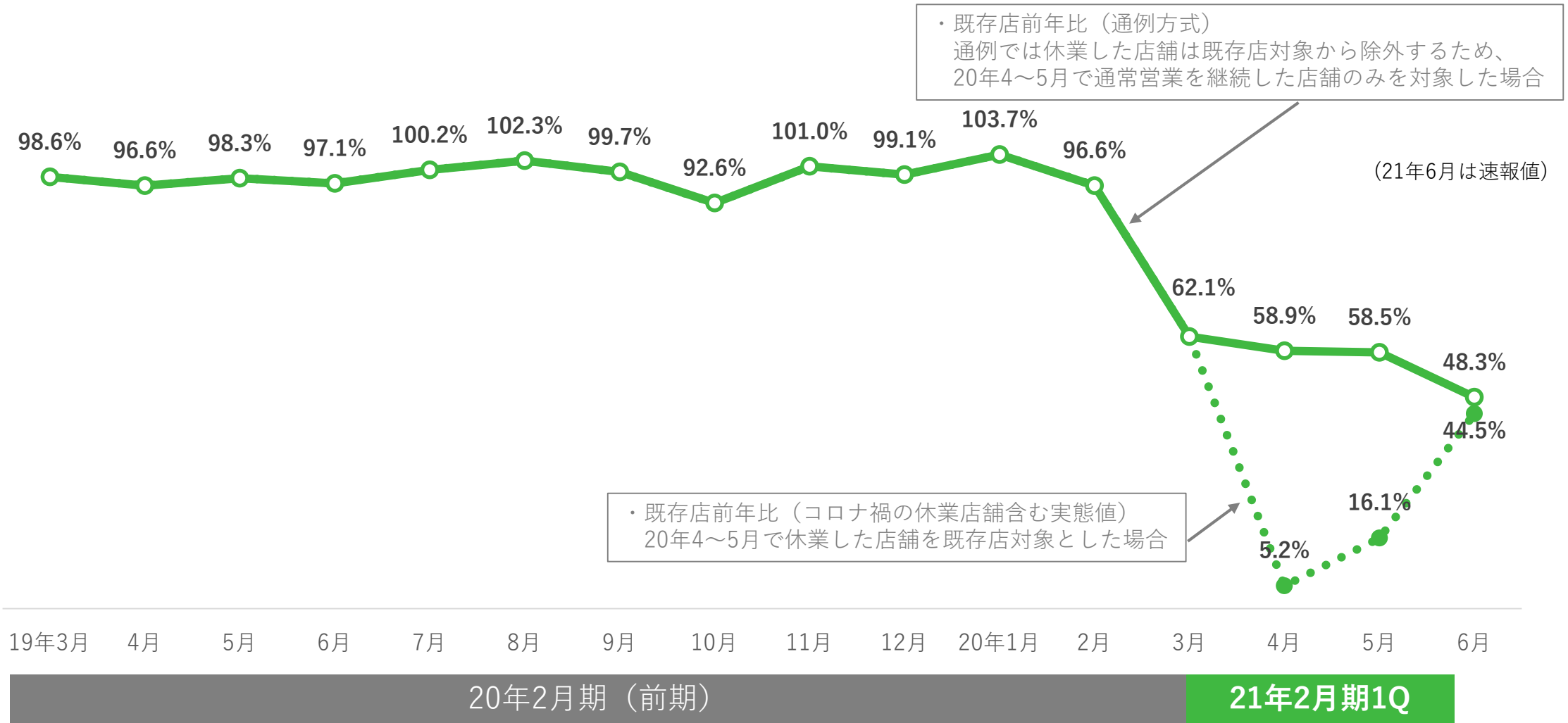
時短営業 (緩和ステップ0 ~5/26)

時間帯	通常営業	時間短縮営業
モーニング	5:00~11:00	営業自粛
ランチ	11:00~14:00	11:00~14:00
アイドル	14:00~17:00	14:00~17:00
ディナー(※)	17:00~24:00	17:00~20:00
ナイト	24:00~29:00	営業自粛
営業時間	24H	9H

※東京都 休業要請緩和要請ロードマップ
 ステップ0 20:00までの営業 ~5/26
 ステップ1 22:00までの営業 ~6/1
 ステップ2 22:00までの営業 ~6/12
 ステップ3 24:00までの営業 ~6/19

既存店前年比(コロナ禍)

■ インバウンド需要の剥落、宴会の自粛拡大、緊急事態宣言発令で急落



既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗
 既存店前年比 (通例方式)：1日でも休業した既存店は既存店前年比算出対象から除外

損益計算書(連結)

■ コロナウイルス感染症拡大の影響で、売上は前年同期比△70.1%まで悪化、販売管理費抑制も21年2月期1Q最終赤字1,465百万円

(百万円)	2021年2月期1Q (20年3月～5月)		2020年2月期1Q (19年3月～5月)		前年同期比	
	実績	売上構成比	実績	売上構成比	増減	増減率
売上高	3,044	100.0%	10,191	100.0%	△7,147	△70.1%
売上原価	914	30.1%	2,928	28.7%	△2,013	△68.8%
売上総利益	2,129	69.9%	7,262	71.3%	△5,133	△70.7%
販管費	3,709	-	6,325	62.1%	△2,616	△41.4%
営業利益	△ 1,580	-	936	9.2%	△2,517	-
経常利益	△ 1,470	-	1,056	10.4%	△2,527	-
当期純利益	△ 1,465	-	723	7.1%	△2,189	-

貸借対照表(連結)

■ 緊急事態宣言下、約97億円（長期・短期）の借入でキャッシュポジション強化

(百万円)	2021年2月期1Q (20年3月～5月)	2020年2月期4Q (19年12月～20年2月)	増 減	要 因
流動資産	14,389	8,727	+5,662	
うち現預金	12,511	7,148	+5,363	
その他	1,609	757	+852	主に雇調金の未収金計上
固定資産	14,479	14,248	+231	
投資その他の資産	5,484	4,943	+540	主に繰延税金資産計上
資産合計	28,869	22,975	+5,893	
流動負債	11,958	4,881	+7,076	
うち有利子負債	9,470	137	+9,332	主に短期借入金 +9,340
固定負債	2,002	1,722	+279	主に長期借入金 +333
負債合計	13,960	6,604	+7,356	
自己資本	14,915	16,380	△ 1,465	利益剰余金 △1,465
純資産合計	14,908	16,371	△ 1,462	
負債・純資産合計	28,869	22,975	+5,893	

※雇調金：雇用調整助成金

ネットD/Eレシオ(倍)	△ 0.2	△ 0.4	+0.2
自己資本比率	51.6%	71.3%	△19.8%

業績ガイダンス

■ 依然として不透明な状況続く、売上高が既存店前年比90%までしか回復しない前提で最終赤字1,300百万円の予想(前年1,461百万円の黒字)

21年2月期：最終赤字 1,300百万円（前年同期1,461百万円の黒字）

業績予想の前提

[営業] 2020年7月、一部の店舗を除いて通常営業再開するが、席の間引き対応など一定の営業制限を継続

[売上] 既存店前年比は、3Qで90%に回復する見通し

[支出] 人員採用抑制、経費削減の取り組みを実施、新規出店やM&Aなどの投資は一旦凍結

[退店] 採算性の低い店舗は、今期中に順次退店して来期以降の収益性向上を図る

[子会社] ジョー・スマイル社(熊本)、クルークダイニング社(長野)ともに前期出店した磯丸水産の本格展開

(百万円)	20年2月期 (19年3月～20年2月)	21年2月期 (20年3月～21年2月)	22年2月期 (21年3月～22年2月)	23年2月期 (22年3月～23年2月)
	実績	見通し	計画	計画
売上高	40,216	25,000	30,000	32,000
営業利益	2,549	△ 2,500	800	1,400
経常利益	2,914	△ 2,200	1,000	1,600
経常利益率(%)	7.2%	-	3.3%	5.0%
純利益	1,461	△ 1,300	700	1,100

株主還元

■ コロナ禍、営業自粛でご不便をおかけしたため既発優待券ご利用期限を3ヶ月延長、先行き不透明につき、配当予想は未定を継続

2019年8月31日権利確定分の株主優待券（送付：2019年11月、有効期間：2020年5月31日）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当社店舗において休業等を伴う不規則な営業状況になっていることに鑑み、2020年5月31日が有効期限の株主様ご優待券につきまして、有効期間を3ヶ月延長し、**2020年8月31日まで利用可能**とさせていただきます。

2020年3月31日以降の権利確定分の株主優待券

従来通り、毎年2月末日および8月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式1単元（100株）以上ご所有の株主様を対象として**株主優待券を贈呈**いたします。

年2回 お食事券 贈呈	基準日	2月末日	8月31日
	贈呈時期	6月上旬頃	11月中旬頃
保有 株式数	100株～499株	お食事券 4,000円分	お食事券 4,000円分
	500株～999株	お食事券 10,000円分	お食事券 10,000円分
	1,000株～	お食事券 20,000円分	お食事券 20,000円分

2021年2月期 中間配当および期末配当

先行き不透明につき、配当予想は**未定**とさせていただきます。

コロナ禍の取り組み

テイクアウト拡充・デリバリー販売開始

丼物を中心としたテイクアウトメニューに加え、浜焼き・オードブル・お弁当などを大幅拡充。
テイクアウトサービス「LINEポケオ」
デリバリーサービス「Uber Eats」を導入しました。



「テイクアウト・磯丸焼きセット」



「UberEats」



磯丸水産
さかな(貝)加工センター®



「LINEポケオ」

安心安全な店づくり・10の取り組み

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針をもとに、
全店で感染防止の為に「10の取り組み」を開始しました。

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(厚生労働省)

<SEFP 大切なお客様へ~10の取り組み>

大切なお客様へ~10の取り組み

新型コロナウイルス感染症予防の取り組みについて

アルコール除菌を徹底します

アルコール除菌を徹底します

間隔を開ける or アクリル板を設置

間隔を開ける or アクリル板を設置
にてご案内します

店内換気のいいお店!

5分に1回、店内の換気をして空気を入れ替えております。

従業員の手洗いを徹底します

従業員の手洗いを徹底します

- ① 従業員のマスク着用の推奨**
従業員のマスクの着用の推奨と手や指の殺菌を徹底します。
- ② アルコール消毒液の設置**
店舗入口付近にアルコールを設置し、お客様にアルコール除菌のご協力頂いております。
- ③ テーブル間隔を開けてご案内**
お客様のお席は、適度な間隔を開けてご案内します。または、アクリル板を設置し飛沫感染防止に努めます。
- ④ 使用後の消毒**
メニューブック・タブレットはお客様のお会計後に消毒しております。
- ⑤ ご利用時にお渡し**
取り皿やお箸はお客様の着席後に提供いたします。(調味料・楊枝も下げておりますので 必要の際はスタッフにお申し付け下さい)
- ⑥ 店内の換気**
当店は排気ダクトによる独自の換気システムを店全体に導入しております。店内の空気は5分に1回入れ替わる計算で設計しています。その為、換気の良い状態で楽しんでいただけます。
- ⑦ ジェットタオルの使用停止**
ウイルス拡散を防止する為、トイレ内のジェットタオルの使用を停止いたします。
- ⑧ 店内の消毒**
定期的に入ロドア、トイレのドアノブ、手すりなどの消毒を行っております。
- ⑨ キャッシュトレーの使用**
お会計時には、キャッシュトレーを使用させて頂いております。
- ⑩ 従業員の検温と体調管理**
万が一、発熱や体調不良の際には、勤務せず、自宅待機させております。

Appendix

損益計算書 四半期別

既存店前年比

損益計算書(連結) 四半期別

(百万円)	20年2月期 (2019年3月～2020年2月)				21年2月期 (2020年3月～5月)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	10,191	9,892	9,596	10,537	3,044
鳥良事業	2,767	2,528	2,393	2,653	702
磯丸事業	5,826	5,701	5,586	6,000	1,703
その他事業	1,233	1,173	1,123	1,221	359
連結子会社	364	485	495	661	279
売上原価	2,928	2,926	2,815	3,021	914
売上総利益	7,262	6,965	6,780	7,516	2,129
販管費	6,325	6,410	6,453	6,785	3,709
営業利益	936	555	326	730	△1,580
経常利益	1,056	636	408	812	△1,470
当期純利益	723	246	216	275	△1,465

既存店前年比

2020年2月期	19年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月
前年比	98.6%	96.6%	98.3%	97.1%	100.2%	102.3%	99.7%	92.6%	101.0%	99.1%	103.7%	96.6%
既存店数	217	219	221	224	244	243	238	237	242	235	233	227

< 通例方式 >

2021年2月期	20年3月	4月	5月	6月
前年比	62.1%	58.9%	58.5%	48.3%
既存店数	237	5	6	198

既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗(通例)
 既存店前年比（通例方式）：1日でも休業した既存店は既存店前年比算出対象から除外

< コロナ禍の休業店舗含む実態値 >

2021年2月期	20年3月	4月	5月	6月
前年比	62.1%	5.2%	16.1%	44.5%
既存店数	237	238	239	228

既存店前年比（コロナ禍の休業店舗含む実態値）：休業した既存店を既存店前年比算出対象として算入

本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

[本資料に関するお問い合わせ先]

S F Pホールディングス 経営企画部

TEL： 044-750-7154

ホームページ： <https://www.sfpdining.jp>